



はる やす びら  
春休み号  
No.3

R2,3,5(木)

図書館サポーターのお兄さんお姉さん、  
どうも ありがとう。



みんなでイッパイ  
読むねー!!



橘小学校のみなさんへ

おはようございます！わたしたちは常葉大学の大学生です。図書館サポーターとして、  
読書や図書館の楽しさを伝える活動をしています。

橘小学校には読書が好きな子がたくさんいると聞いたので、今日は皆さんに本や絵本を  
お届けにきました。全部で6冊あるので、1冊ずつ紹介していきます。

1冊目は「なまえのないねこ」。主人公は1匹の野良猫で、町の猫にはみんな名前がついて  
いるのに、なんで自分には名前がないんだろう…と考えてしまいます。ある猫に「自分の  
好きな名前をつけられればいいじゃない」と言われ、町を歩きながら自分に合う名前を探しまし  
た。かんばん、やじるし、くるま、ほんじつとくばい、へんなねこ、あっちいけ！…名前は  
なかなか見つかりませんでした。最終的にこの猫ちゃんは自分にぴったりな名前を見つける  
ことができるのでしょうか……？というお話です。

2冊目は「しょうがっこうがだいすき」。実はこの絵本、ういちゃんという小学二年生の  
女の子が作りました。これから小学校に入学する子たちへ、ういちゃんからのメッセージに  
なっているのですが、もう小学校に入学しているみんなも、これを読んで今までの自分を振  
り返ってもらえると嬉しいなと思います。例えばこんなメッセージがあります。「さけばな  
いように、れんしゅうしよう」・「むずかしいとおもうことは、れんしゅうしよう」・「おとも  
だちと、おてがみをこうかんしてみよう」などなど。これから小学校に入学するお友達にメ  
ッセージを送るとしたら、なにを伝えたいかな？ということを考えながら読んでもらえる  
と嬉しいです。

とこだいとしよかん  
常大図書館サポーターさんより

あ い  
をこめて...  
橘子へ本のプレゼント!

きょうはうれしいおしらせです。  
常葉大学には、読書イベントを企画・運営している  
「図書館サポーター」という大学生のグループがあります。

秋の大学祭で図書館サポーターさんたちが古本市を開き、  
その収益金の中から、かわいい弟・妹分の橘子へ本をプレゼントして  
くださいました。本の紹介原稿もいただきましたので、この場を借りて  
ご紹介します。  
(本当は3月に本の贈呈式・読みきかせなど、サポーターさんとの交流の場を  
計画していましたが残念ながら中止となってしまいました。来年度こそはぜひ！)



そうだ、わかった。  
ぼくがほんとうにほしかったのは...

「なまえのないねこ」  
竹下文子・文 町田尚子・絵  
(小峰書店) えほん



やっておくといいよ！  
こんなこと、あんなこと

「しょうがっこうがだいすき」  
うい・作 えがしらみちこ・絵  
(Gakken) えほん